



機関リポジトリ業務

旭川医科大学 図書館情報課
鈴木 雅子

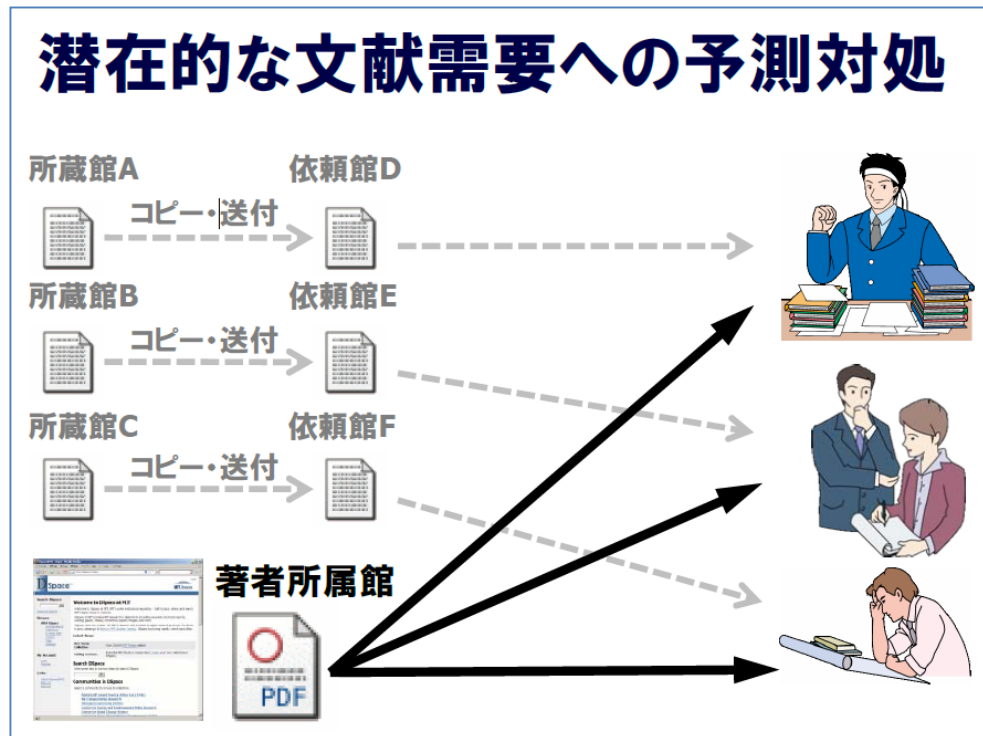
ゴールドOA優勢になった時に

- 購読モデルがなくなる限り、当然ながら機関リポジトリは必要
- ゴールドジャーナルの論文も搭載していくかどうかは各機関の考え次第
 - 既にOA
 - 機関の研究成果を集積する
 - 大学情報データベースとの関係

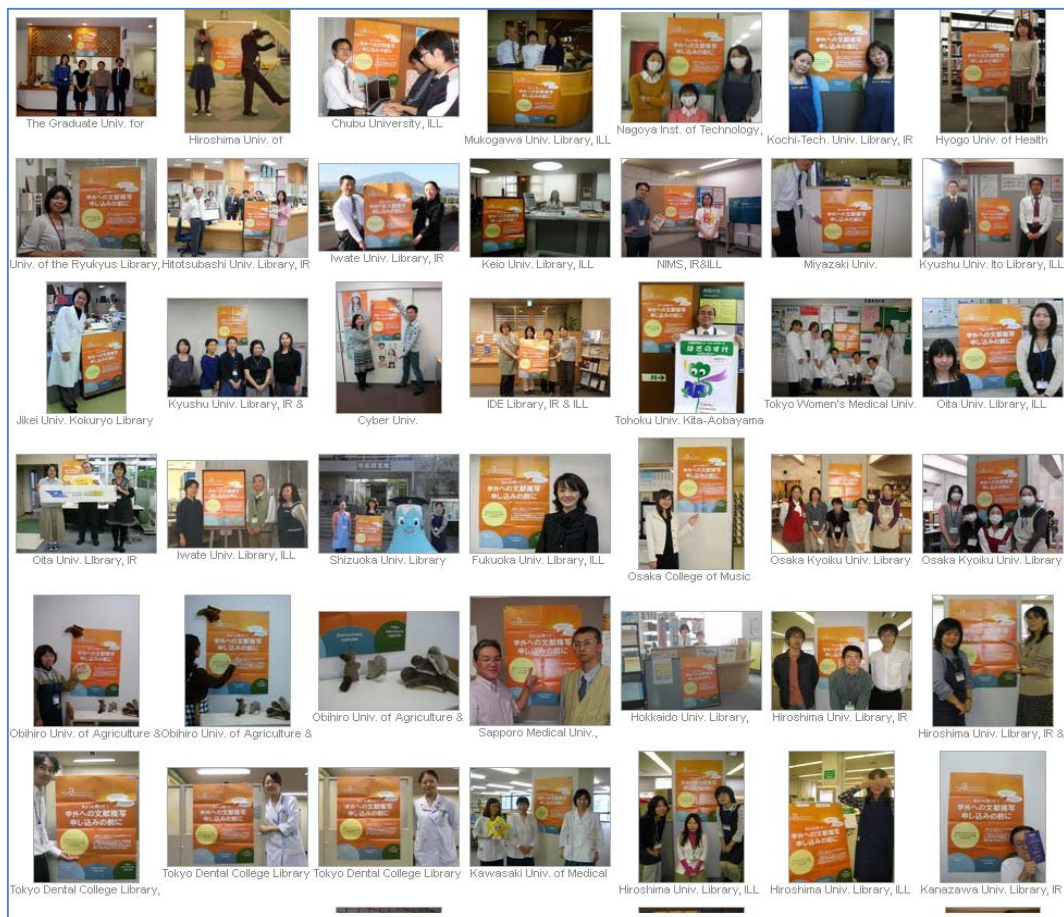
IRcuresILL



- IRとILDDは、遠隔利用者への文献供給サービスとして本来的に等価の活動



IRcuresILLで初OAW



OPEN ACCESS WEEK
2009
openaccessweek.org

読みたい論文が載った
雑誌が見当たらずとも
あきらめないで

電子ジャーナルに
アクセスできなくても
あきらめないで

ちょっと待って！

学外への文献複写 申し込みの前に

読みたい論文は、Google検索から今
すぐ入手できるかも！

大学のウェブサイトなどで、研究紀要
や、有科学術誌掲載論文(未レイアウト
版を含む)など、さまざまな学術文献の
無料公開が急速にすすんでいます。

大学ウェブサイト上の
オープンアクセス文献
3,000,000

Springer LINK
4,600,000

ScienceDirect
9,000,000

Wiley
InterScience
3,000,000

月刊DRF

これまで、DRFはたくさんの企画やイベントを行ってきましたが、何人集まったというような報告にとどまらない、講演内容の紹介を、リポジトリ担当者以外の人にも届けられないかなーと思ったことが企画のきっかけです。イベント情報に限らず、**リポジトリ担当者に限らず、図書館員の誰もが楽しめる話題をとりあげていく予定です。**(創刊号のお知らせメールより)



月刊 DRF

Digital Repository Federation Monthly

創刊号
No. 1 February, 2010

【特集1】DRF新体制が発足！
【特集2】DRF6を開催しました

その他の記事
MLの話題から～未来の論文の形？～雑誌Cellの提案
参加機関紹介 ～OAK: 帯広畜産大学学術情報リポジトリ



DRF運営委員：前列右から (※入江伸委員(慶應義塾大学メディアセンター本部課長)は欠席)
内島秀樹委員(金沢大学情報部情報企画課長)、関川雅彦委員(筑波大学附属図書館情報管理課長)、杉山京武委員(千葉大学情報部学術情報課長)、
逸見晴亮委員(北海道大学附属図書館長)、片山俊治委員(東北大学附属図書館事務部長)、石井道悦委員(広島大学附属図書館副館長)

平成22年2月5日 DRF新体制に！

デジタルリポジトリ連合(Digital Repository Federation: DRF)では、持続的な運営と国際的連携を推進するための体制整備を趣旨として、デジタルリポジトリ連合要項を定め、今後の活動の基盤とすることしました。この新体制の発足式がDRF6終了後、北海道大学で行われました。参加機関は発足時点で108機関。要項は<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?About%20Us>で公開しています。

どう変わる？

新体制になることでどう変わるのでしょうか？
企画WG主査の尾崎氏、国際連携WG副査の杉田氏、技術サポートWG主査の前田氏
聞きました。

●DRFはこれまで一つのプロジェクトでしたが、新たな組織としてスタートしました。これまでの研修会を体系化し、リポジトリの持続に最も重要だと考えられているコミュニティ活動もさらにパワーアップするはず！(広島大学 尾崎)

●DRFは昨年、オープンアクセスリポジトリ連合(COAR)の設立に協力しました。COARは、とてもゆるやかな、DRFの国際版とも言えるようなコミュニティ。海外のリポジトリ担当者もみな私たちと同じような悩みをかかえています。「どうやって先生方に働きかければいいのか」「著作権のことよくわからない」これら、海外と、等身大で、手を携えてことにあたっていく機会がさらに増えるものと思います。
(北海道大学 杉田)

●わしにはわらん。(小林しのり風)でも人が増えたからもっと楽しくなるのは 確実じゃっ！(大阪大学 前田)

運営委員会 委員長：逸見晴亮(北海道大学)

アドバイザー

企画WG 主査：尾崎文代(広島大学)

国際連携WG 主査：内島秀樹(金沢大学)

技術サポートWG 主査：前田俊治(大阪大学)

研究室訪問



これから

- IRは著者としての教員サポートを初めて考えた業務
- 大学を超えたつながり、世界とのつながりと館内の横のつながり.
- 自分は、自学の研究者に対し、学生に対し、どんなサポートができるのか？ するのか？